

令和3年度

土成中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標 学力向上検討委員会構成

- 大志の実現に向けて自ら学ぶ生徒の育成
- 家庭における学習習慣の確立による学力の定着

学力向上推進員  
吉本 早織

委員 校長:高田 優 教頭:重本文代 教務主任:小崎朱代  
 1年主任:尾嶋麻子 2年主任:三宅弘朗 3年主任:鈴木真二  
 人権教育主事, 生徒指導主事, 生徒指導主事, 道徳教育推進教師,  
 研修主任, 保健主事, 特別支援教育コーディネーター  
 学力向上学年担当:松野真理(1年), 桔川恭介(2年), 吉本早織(3年)

校長

高田 優 印

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や試験結果の分析による到達度の見極め等から取組み状況を把握する

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や英単語の読み書き, 計算などの基礎的な課題に対して, 意欲的に取り組み, ある程度の定着が見られる。 ●学力に二極化が見られる。苦手意識が強い生徒ほど学習意欲が低く, 家庭学習が充実しないことが課題と考える。	・読書習慣が身についている。 ・言語に対する関心, 理解を深め, 言語に関する基礎的基本的な知識や技能を身につけることができる。	・学級文庫の充実, 朝の読書の時間の確保, 図書館利用の推奨により, 読書活動を促す。 ・確認テストを計画的, 継続的に実施する。 ・生活記録の指導を通して, 言語力の向上を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを相手にわかりやすく伝えようとする意欲がある。 ●自分の考えや思いを, 筋道を立てて表現することに課題がある。	・目的に応じて, 根拠や理由を明らかにしながら, 自分の考えを相手にわかりやすく表現することができる。	・学習活動の中で自分の考えを筋道を立てて説明したり, 文章に書く・表現したりする機会を意図的に設ける。 ・学び合い活動を取り入れた授業を実施する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全体的に落ち着いて学習に取り組むことができる。しなければいけないことをきっちりできる生徒が多い。 ●難しいことや苦手なことでも最後まであきらめない気持ちや, 疑問に思ったことを追求しようとする意欲が乏しい。	・自らの課題に自ら気づき, 目標を持って主体的に取り組むことができる。	・学習課題等を工夫し, 最後まで努力する意欲や探究心を育成する。 ・自主勉強への取り組みについて粘り強く指導し, 家庭学習の習慣化を図る。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

